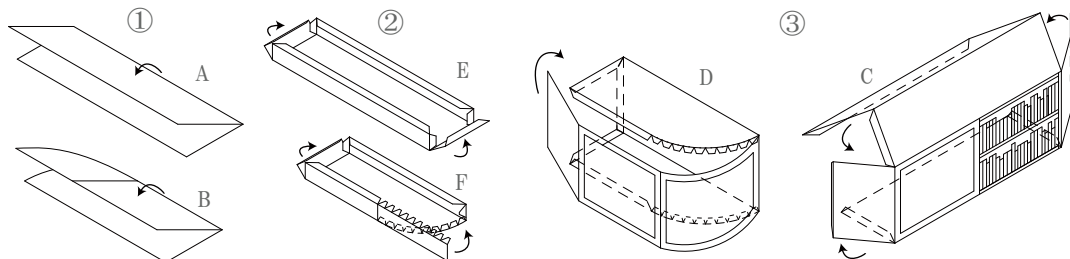


## 図書出納台 ペーパークラフト(縮尺20分の1)

- ・ハサミまたはカッターナイフ、接着剤(のり、木工用ボンド等)を用意してください。
- ・外形線に沿って切り離してください。
- ・点線は山折りに曲げ、のりしろを接着してください。

※ハサミ・カッターナイフ等の取扱いには十分にご注意ください。

※折り曲げるところをあらかじめシャープペンシルのペン先(芯を出さない状態)などでなぞり、“折りぐせ”をつけておくと、作業しやすく綺麗に仕上げることができます。

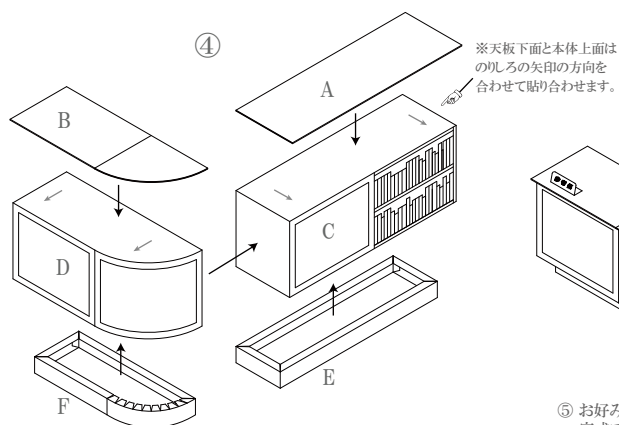


① A・B部品を点線に沿って山折りにし、貼り合わせます。

② E・F部品を組み立てます。

※曲面部分はあらかじめ丸い棒などに巻き付けてくせをつけておくと綺麗に仕上がります。

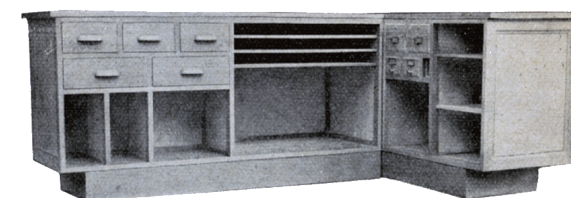
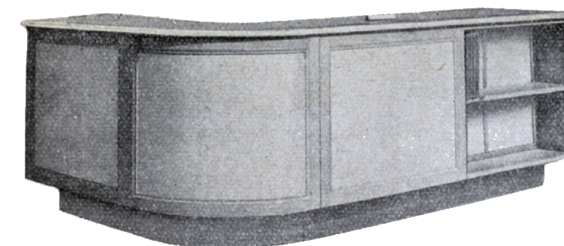
③ C・D部品を組み立てます。



④ A-C-E部品、B-D-F部品をそれぞれ貼り合わせ、本体の側面同士を貼り合わせます。

※天板下面と本体上面はのりしろの矢印の方向を合わせて貼り合わせます。

⑤ お好みでカレンダーやサインを天板の上へ貼り、完成です。



図書出納台  
(1950(昭和25)年～1958(昭和33)年 カタログ掲載)

写真の仕様

木原正三堂製

高さ 小学校用 2.2～2.5尺 (約666～758mm)

中学校用 2.5～3.0尺 (約758～909mm)

高校及一般用 3.0～3.5尺 (約909～1,060mm)

カウンターは、図書出納台と称して、木原正三堂では1950(昭和25)年のカタログより掲載されています。書庫の出納だけでなく、貸出・返却、利用・読書案内などサービスセンターとしての様々なサービスに対応するためカウンター内部に工夫がみられます。その後時代のニーズに伴い、大型カウンター、また学校図書館、官庁など小図書館に適した標準型、業務ごとに特化したユニット式が目立って注目されていきました。現在では、よりコンパクトで移動のしやすいフレキシブルを持ったカウンターが求められ、多様なコミュニケーションの可能性を広げています。

**KIHARA**

図書館設備・用品  
LIBRARY INFORMATION  
SUPPLIES & EQUIPMENT

<https://www.kihara-lib.co.jp>

